

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 9月 30日 ( 17:30 ~ 19:30 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 中島 平野 溝端 高橋 川西 堤 根本  
西村 谷口 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	0人	0人	10人

前回の改善計画  
ミーティングに欠席した場合は記録を確認するとともに出席者に聞くなどして情報を得る。利用者について気づいたことは記録または口頭で伝えあい、全職員に行き届くようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果  
利用者について気づいたことは他職員に伝えたり記録に残したりするようにしている。ミーティングで共有しているが、出席者が少ないことがあり、全職員で共有しきれていないことがある。ミーティングでの決定事項や利用者の支援に変更があったときはメモを職員の目につきやすいところに張るなどして共有できるよう努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9	0	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	7	1	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	7	1	0	10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6	2	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
ミーティングで情報を知ることができている。気づいたことはその都度口頭で伝えたり記録に残したりしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
ミーティングの出席者が少なかったり、全職員が記録や日誌を確認できていなかったりすることもあり、情報が周知できないこともある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
ミーティングの記録や日誌を確認し、利用者の状態についての情報を共有する。状態を知るだけでなく、支援の方法についても共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 9月 30日 ( 17:30 ~ 19:30 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 中島 平野 溝端 高橋 川西 堤 根本  
西村 谷口 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	5人	3人	1人	10人

前回の改善計画  
利用者とかかわりを多く持ち、その人の思いを知るように努める。  
「～したい」という思いを実現するために必要な支援について話し合う。

前回の改善計画に対する取組み結果  
すべての利用者の「～したい」が把握できていない。  
「～したい」という声から本人の思いを知るよう努めているが、具体的支援につなげることができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	3	5	1	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	3	5	1	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	4	4	1	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	6	2	1	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
利用者とかかわり話をする中で、本人の興味や関心、したいことなどを知ることができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
職員が個々に知ることが大切な情報の一つであることを理解できていないため、全員での共有につながらないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
個々の利用者の目標を周知する。  
利用者の「～したい」を知り、ミーティングで共有するとともに、具体的な支援について話し合う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 9月 30日 ( 17:30 ~ 19:30 )

3. 日常生活の支援

メンバー 中島 平野 溝端 高橋 川西 堤 根本  
西村 谷口 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	6人	4人	0人	10人

前回の改善計画	以前の暮らし方を知り、今の暮らしがよりその人らしいものになるよう具体的な支援を検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	すべての利用者の以前の暮らし方について把握しきれていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	6	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	6	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	2	1	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	8	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	9	1	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ミーティングで利用者についての情報を話し合っている。 食事・入浴・排泄についての支援方法について、職員間で共有するため、ミーティングで話をするだけでなく、記録やメモなどで周知するよう努めている。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 自分のことを伝えられない利用者や家族と出会えない利用者についての情報が少ない。 目の前の利用者の状態に目が行き、以前の暮らし方を知ろうとしていないところがある。
---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 以前の暮らし方について職員一人一人が情報収集に努め、他の職員に伝える。 得た情報をミーティングで共有し、具体的支援を検討する。
---------------	--------------------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 9月 30日 ( 17:30 ~ 19:30 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 中島 平野 溝端 高橋 川西 堤 根本  
西村 谷口 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	3人	0人	10人

前回の改善計画	<p>利用者の暮らす地域の資源についての情報を収集する。 事業所のサービス以外に利用者の暮らしを支えることができる資源についての情報を得る。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>利用者の暮らす地域の資源について、すべてを把握できていない。 事業所のサービスだけで、他の資源との協働に結び付けられていないケースが多い。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	7	2	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	6	3	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	5	4	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	6	4	0	10

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者や家族からこれまでの生活や人間関係について情報を得よう努めている。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------

できていない点	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域のインフォーマルな資源が把握しきれていない。 地域との関係が切れてしまっている利用者が多い。</p>
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>事業所を利用していないときの生活についての情報を得て利用者の全体像を知るよう努める。 事業所のサービスだけでなく、利用できる地域資源について情報を収集する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 9月 30日 ( 17:30 ~ 19:30 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 中島 平野 溝端 高橋 川西 堤 根本  
西村 谷口 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	0人	0人	10人

前回の改善計画	<p>利用者を主体としたサービスの提供を目指す。 利用者について話し合ったことが日々の実践に活かされているかを省みる機会を持つ。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>利用者がサービス利用を楽しみにできるように活動内容を工夫している。 利用者について話し合ったことはほぼ実践できているが、そのことについて省みる機会があまり持てなかった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	8	1	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	7	1	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	7	0	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	7	0	0	10

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 事業所利用時はその時々の利用者の状態に合わせた支援ができている。 本人家族の希望にあわせ、「通い」「訪問」「宿泊」が臨機応変に提供されている。</p>
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 家族の都合でサービスが提供されてしまうことがあり、利用者主体になっていないケースがある。</p>
---------	---------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用者の思いを知り、家族と話し合いながら個々に合わせた支援を目指す。 利用者について話し合ったことが日々の実践に活かされているか省みる機会を持つ。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 9月 30日 ( 17:30 ~ 19:30 )

6. 連携・協働

メンバー 中島 平野 溝端 高橋 川西 堤 根本  
西村 谷口 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	1人	0人	10人

前回の改善計画	地域住民に来てもらえる行事を開催し、交流を深める。 地域に出かける機会を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域住民に来てもらえる行事を開催できている。 季節の外出や文化祭への参加などで地域に出かけるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	9	0	0	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	8	0	0	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	7	1	0	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	6	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 文化祭の参加、地域住民を招いての行事の開催などの地域との交流ができている。
--------	-----------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者や家族を支えるネットワークの構築についての検討ができていない。 近隣のこども園との交流がなくなった。
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域住民に来てもらえる行事を開催し、交流を深める。 地域に出かける機会を多く持つ。
---------------	----------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 9月 30日 ( 17:30 ~ 19:30 )

7. 運営

メンバー 中島 平野 溝端 高橋 川西 堤 根本  
西村 谷口 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	4人	5人	0人	10人

前回の改善計画	職員一人一人が事業所の一員であるという自覚を持って運営についての意見を言う。利用者や家族、地域からの苦情について話し合うことで自分たちのサービスを振り返り、何が問題なのかを考える。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営についての意見を言うことがサービスの向上につながり、個々の職員の責務であることが理解できていない。利用者や家族、地域からの意見があったときはミーティングで話し合うようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	4	5	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	2	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	6	4	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	5	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入することより多くの意見を知るため、利用者や家族と話をする機会を多く持つよう心掛けている。家族に向けてアンケートを実施し、結果についてミーティングで検討している。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること地域と協働した取り組みの実施、実施に向けての検討ができていない。
---------	---------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員一人一人が事業所の一員であるという自覚を持って運営にかかわろうとする。利用者や家族からの意見や苦情がサービス向上につながるという意識を持つ。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 9月 30日 ( 17:30 ~ 19:30 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 中島 平野 溝端 高橋 川西 堤 根本  
西村 谷口 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	0人	0人	10人

前回の改善計画	研修で学んだことを意識して日々の業務に取り組む。 見守りができる体制づくりについて話し合い、実行する。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修で学んだことが日々の業務に活かしているかの評価ができていない。 誰かが見守りをしていると過信しているところがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	8	1	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	6	3	0	10
③	地域連絡会に参加していますか	/	/	/	/	/
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ヒヤリハットの事例検討をミーティングで行うことによって見守りの必要性を確認している。
--------	----------------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 職員によって見守りの意識に差があり、見守りができていないことがある。 職場外研修への参加について自主的にできていない。
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
見守りに関する意識を高め、事故が起こらないように努める。 職場研修以外の学ぶ機会を自ら探すなど、職員個々に自己研鑽に努める。	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 元年 9月 30日 ( 17:30 ~ 19:30 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 中島 平野 溝端 高橋 川西 堤 根本  
西村 谷口 岩井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	0人	0人	10人

前回の改善計画  
 利用者の人権とは何かをについて考えるとともに、身体拘束や虐待防止について学ぶ。  
 事故防止することが身体拘束につながらないように気をつける。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 研修で利用者の人権や身体拘束、虐待について学んでいる。  
 事故防止が利用者の行動制限になっていないか、強い言葉で利用者の人権を侵害していないかなどを振り返る機会があまり持てなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	4	6	0	0	10
②	虐待は行われていない	6	4	0	0	10
③	プライバシーが守られている	3	7	0	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している					
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	5	0	0	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 利用者一人一人の気持ちに寄り添い、丁寧なかかわりができるよう努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 利用者の安全を思うあまり、行動制限してしまったり、言葉のかけ方が不適切だったりすることがある。  
 利用者 앞에서利用者や職員の個人情報を話してしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 人権や守秘義務についての理解を徹底し、意識を高める。  
 身体拘束や虐待についての研修を実施し、利用者の人権を尊重した対応ができる。